

まちをきれいに

みんなのまちだから、みんなできれいに

市内では、企業や学校、地域の団体など、多くの人がまちの美化に取り組んでいます。これからは「だれもが住みたくなくなる」の「みないまち」を目指し、努力を続けていきます。市民の皆さんも、ごみ減量とともに、町内の一斉清掃など市内清掃にご協力ください。市内で行われている清掃活動を紹介します。



海の清掃

海底に沈むごみに挑む

半田孝之さん(51)は、能古島(西区)の北西海域で底引き網を使ってエビ類やカレイ、ヒラメなどの魚を捕る漁師さんです。「近年、博多湾の環境は悪化している」と言う半田さんは、市漁業協同組合伊崎支所に所属する仲間とともに、博多湾の海底に沈んでいるごみの回収を続けています。漁のたびにいやなごみが網に入り、1日に30〜40キログラムほどを引き



海底から揚げたごみ

上げていきます。ビニール類、ペットボトル、空き缶など生活ごみが特に多いところで、ときには自転車や古タイヤなどが引掛かっているごみも。「ごみは年々増えており、取っても取っても足りませんが、海底の清掃はほくらが続けていくしかない。日ごろから大事な自然を守るという意識をみんなが持つことが大切」と半田さんは訴えます。

市は漁協の各支所に「ごみを入れる大型コンテナ」を設置し、漁業者の皆さんの協力で集められる海のごみを回収しています。平成20年度は約220トンを処理しました。

山、川そして最後にたどり着く海を守るためには、



ごみを入れるカゴを手にする半田さん。「カゴに入りきれないときもある」と言う

私たち一人ひとりがごみを減らす努力を続けていくことが最も大切です。市民の皆さんのご協力をお願いします。

【問合せ先】
水産振興課(☎711・4364)⑦733・555
7 メール suisanshinko.AFFB@city.fukuoka.lg.jp)



川の清掃

市中心部の河川の清掃

市は都市美化対策の一環として、市の中心部を流れる那珂川、御笠川、博多川の3河川の清掃を実施しています。潮の干満を考慮して清掃時間を設定し、清掃船を使用して、水面上に浮遊するごみを網ですくい回収しています。

河川ごみは、草木などの自然発生的なものだけでなく、ビニール袋や空き缶、ペットボトル、弁当がらなどの生活ごみが多く回収され、ときには投棄された自転車や家電製品等を回収することもあります。特に、大雨が降った後や台風の後、ごみが河川に流入し、回収量も著しく多くなっています。平成19年度は3河川で

合計367トンを回収しました。生活ごみの多くは、河川に直接投棄されたものばかりで、道端等にポイ捨てされたごみが風に飛ばされて流したものです。まちをきれいに、川をきれいにするために、ごみのポイ捨てはやめましょう。市民の皆さんのご協力をお願いします。



川面に浮遊するごみを網ですくい取る

5月31日(日)午前9時から

地球の大掃除に参加しませんか

今年度のラプアース・クリーンアップは5月31日(日)午前9時から開催されます。平成4年に始まった「ラプアース」は市民、企業、行政が協力し、海岸や河川、公園などの散乱ごみを回収する地域の環境美化活動です。昨年は市内で約3万6700人が参加し、ごみ回収量は約236トンを上りました。



昨年の本部会場での開会式

今年度の本部会場となる生の松原海岸(西区)をはじめ、長垂海岸公園(同)、那珂川河畔公園(南区)、大濠公園(中央区)など、当

日誰でも参加できる会場もあります。軍手を持参して、あなたも地球の清掃活動に参加してみませんか。

当日参加できる会場はほかにも多数あります。詳しくはラプアースのホームページ(www.lovereearth.jp.net)で確認できます。

【問合せ先】
家庭ごみ減量推進課(☎711・4346)⑦733・556
メール kateigomi.EB@city.fukuoka.lg.jp)

市が河川清掃を委託している(有)カンタの神田雅明さん(53)は「清掃している3河川は旅行で博多のまちを訪れた人たちがよく目にする場所です。福岡の川もまちをきれいに、と言われた」と話していました。

【問合せ先】
環境局業務課(☎711・4301)⑦733・5710
メール gyomu.EB@city.fukuoka.lg.jp)



道の清掃

渋滞避ける時間帯に清掃

市はまちの美観を維持し、道路を安全に利用できるように、ダンプカー、散水車、ロードスイーパーと



路肩のごみを勢いよく巻き込んでいくロードスイーパー(清掃車)

呼ばれる清掃車の3台が1組となって主要幹線道路を1日当たり延べ330キリ清掃しています。

交通量など道路の状況に応じて各路線の清掃頻度を決め、交通渋滞を避けるために深夜や早朝などに効率的に作業を行っています。道路清掃で回収するごみは年々減っています。

【問合せ先】
環境局業務課(☎711・4301)⑦733・5710
メール gyomu.EB@city.fukuoka.lg.jp)

市長のくさ日記

博多湾の漁師さんたちは心底怒っていました。網に掛かるのはごみ入りのポリ袋、海上ではなんと冷蔵庫すらぶかぶか漂う。海洋汚染につながる「迷惑の大漁節」を嘆く毎日です。みんながマナーさえ守れば起きないはず。でも、実際は「まさか」の現実がはびこり、海も山も街も後始末に追われています。暮らすが便利になるほど排出するごみは増え、環境を悪化させる原因にもなるので

福岡市長 吉田 宏